

### 業務の目的・意義

- 中富良野町がPPP/PFI手法の導入を検討するにあたり、必要となる基本的な知識に加え、中富良野町がPPP/PFI手法導入を従来手法に優先して検討していくために、検討の対象となる事業分野や検討プロセス等の基本的な考え方を示すことを目的として優先的検討規程の素案を策定する。
- 策定した優先的検討規程に基づいた運用支援を行う。

### 優先的検討規程に基づいた運用支援（JALオーベルジュ事業）

#### ①事業概要

- 中富良野町と日本航空株式会社（以下「JAL」とする。）は、令和5年7月23日に相互の連携強化とそれぞれが持つ物的・人的・知的資源を有効に活用し、地域全体の活性化を図ることを目的として、連携協定を締結している。
- 連携協定の協力事項には、観光振興・関係人口拡大に関することとして、「中富良野町の北星山にJALブランドを冠した「オーベルジュ」の設立計画」が示されており、JALと連携したオーベルジュ事業の検討が進められている。

#### ②支援内容

- 検討を一步進めることを目的として、対象事業の基礎情報の整理を行い、適切と想定されるPPP手法とそのメリット・課題(留意点)、想定スケジュール等についてとりまとめた。

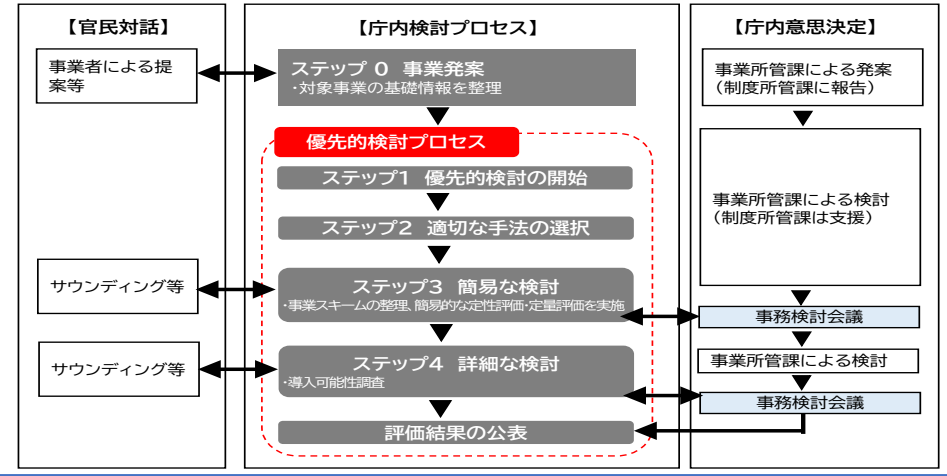
#### ③今後の検討課題

- 北星山森林公園エリアは町における重要な観光資源として位置づけられており、本事業のエリア全体との連携、位置づけについても整理していく必要がある。
- 事業の具体化に向けた検討としては、本支援において整理したスキーム等を精査するとともに、その妥当性を評価していくことが必要となる。
- 民間事業者のノウハウを最大限活用可能なスキームとし、魅力ある観光コンテンツとして効果的な取組としていくために、今後丁寧な整理が必要と想定される。

### 優先的検討規程の策定

- PPP/PFI優先的検討規程を策定する際のポイントを以下のとおり整理した。
- **対象事業分野**：「公共施設整備・管理運営事業」及び「公有財産利活用事業」
- **対象基準(※)**：「公共施設整備・管理運営事業」：施設整備費2億円以上、維持管理運営費5千万円以上  
「公有財産利活用事業」：3,000㎡以上の未利用地  
※基準を満たさなくとも明らかに民間事業者の参入が見込まれる場合等は検討対象とする。
- **検討プロセスと庁内体制**：制度所管課が事業所管課を支援、発案状況の捕捉、検討結果の庁内オーソライズ
- **民間事業者との情報共有・対話**：優先的検討のステップにおいて民間事業者との対話の機会を設定
- **検討・評価事項と判断基準**：簡易な検討において検討、評価、判断する基準を明確化

【公共施設整備・管理運営事業における優先的検討プロセスの全体像】



### 運用に関する課題と対応策

- 町への支援の過程から得られた知見の中から、他の地方公共団体における検討にあたっての留意点・課題等を①～③のとおり整理した。

①	<b>発案した事業を優先的検討の俎上に載せるための工夫</b> (地方公共団体の事業の発案状況を踏まえた検討対象となる事業規模の設定等)
②	<b>事業担当課を支援する庁内体制の実行</b> (制度所管課等による事業所管課の支援)
③	<b>優先的検討規程・PPP/PFIの基礎知識等に関する定期的な庁内周知・検討状況の把握</b> (優先的検討規程の周知・発信、制度所管課による全庁的な把握、庁内研修の実施等)

### 業務の目的・意義

- 葉山町が行財政運営の合理化及び健全化並びに町民サービスの一層の向上に向けて、PPP/PFI手法の導入を検討するに当たり必要となる基本的な知識に加え、PPP/PFI手法導入を従来型手法に優先して検討していくために、検討の対象となる事業分野や検討プロセス等の基本的な考え方を示すことを目的として、「葉山町PPP/PFIガイドライン」（優先的検討規程）の素案策定を支援した。

### 優先的検討規程に基づいた運用支援 （学校施設再編（小・中学校再整備）に伴う施設管理事業）

#### ①事業概要

- 葉山町では「第四次葉山町総合計画」に基づき、施設面での総合的な満足度が高い「施設一体型」の小中一貫校の検討が始まったが、既存の町内小中学校施設は何れも築年数が50年前後と老朽化が進んでおり利活用が難しいことから、施設一体型の小中一貫校再整備を目指すこととした。

#### ②支援内容

- 本事業の上位計画における位置づけや事業の目的、既存学校施設概要等の基本情報の整理に加え、想定される事業手法等の検討、他自治体におけるPPP/PFI導入事例の確認を行った。

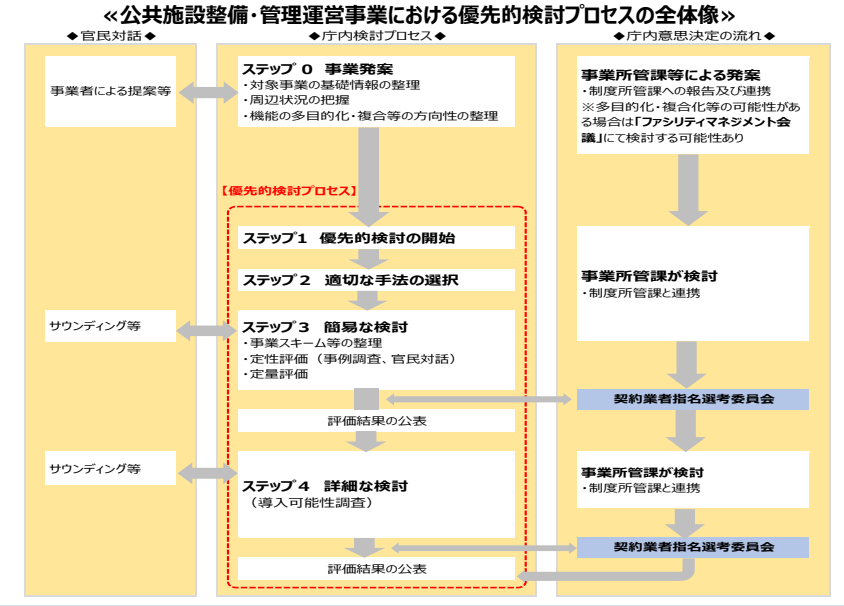
#### ③今後の検討課題

- 次のステップに向けた事業内容の具体化や事業スキームの検討等に加え、施設一体型小中学校再整備に伴う廃校となる学校（対象施設は未定）の跡地利活用に向けた検討。

### 優先的検討規程策定のポイント

「葉山町PPP/PFIガイドライン」を策定する際のポイントを以下のとおり整理した。

- **対象事業分野**：「公共施設整備・管理運営事業」及び「公有財産利活用事業」
- **対象基準**：「公共施設整備・管理運営事業」：施設整備費10億円以上、維持管理運営費1億円円以上  
「公有財産利活用事業」：2,500㎡以上の未利用地  
※基準未達でも明らかに民間事業者の参入が見込まれる場合や、他自治体等で実績のある事業は検討可能
- **検討プロセスと庁内体制**：制度所管課が事業所管課をサポートし、円滑な検討が進むよう配慮
- **民間事業者との情報共有・対話**：優先的検討のステップにおいて官民対話の機会を設定
- **検討・評価事項と判断基準**：簡易な検討において検討、評価、判断する基準を明確化



### 運用に関する課題と対応策

①	<p><b>発案した事業を優先的検討の俎上に載せるための工夫</b>                  複数事業の包括化の可能性を探るなど事業規模を拡大し優先的検討の俎上に載せることが重要である。また、事務負担や民間活力導入の効果等のバランスを考慮し、対象基準を見直すなどの対応も必要である。</p>
②	<p><b>事業所管課を支援する庁内体制の実行</b>                  制度所管課はもちろんのこと庁内関係各課もPPP/PFI事業推進に関するノウハウの蓄積を進めるとともに、事業所管課による事業の検討状況を制度所管課が把握のうえ適切に支援を実行することが重要である。</p>
③	<p><b>優先的検討規程・PPP/PFIの基礎知識等に関する定期的な庁内周知・検討状況の把握</b>                  運用定着のための、定期的なガイドライン（優先的検討規程）の周知および、検討対象事業が漏れなく確実に検討されるために、制度所管課が全庁的に検討状況をとりまとめ、内容を確認・把握することが重要である。</p>